

学校教育目標

あかるく、思いやりのある子ども
かしこく、進んで学習する子ども
たくましく、根気強い子ども

篠木小

回覧

教育振興協議会が開かれました

先日の第3回教育振興協議会の会議の中で、「スクールガードさん」の仕事について、もっとPRをというお話をいただきました。私もはっとさせられました。

毎朝、決まった時間に、決まった場所で、雨の日も凍えるような寒い日も、子供たちに「おはよう」「気をつけてね」と声をかけてくださるスクールガードの皆様。

スクールガードの皆様は、ただ「この地域の宝である子供たちを、事故から守りたい」という一心で、貴重な時間を割いて立ってくださっています。完全なボランティアです。

私が安心して毎日校門で子供を迎えられるのは、スクールガードさんの「善意」という盾があるからです。感謝を伝えるのに、特別な贈り物は必要ありません。一番の贈り物は子供たちの明るい挨拶と、保護者の皆様の「感謝の一言」です。

子供たちには、先日の全校集会で、児童会執行部役員が、篠木小学校をいい学校にするために時間を削って頑張っていること、同じようにスクールガードの皆さんのお仕事について話しました。ご家庭でも感謝の輪が広がるよう話題にしていなければ幸いです。

2月27日（金）の6年生を送る会では、6年生への感謝と一緒にスクールガードさん、図書ボランティアさんへも感謝の気持ちを表します。

篠木っ子の活躍

～ がんばりに拍手！ ～

☆岩手県書写書道作品コンクール

毛筆の部 〈岩手県市町村教育委員会協議会長賞〉 1年 菅原 朱姫

〈推薦〉 3年 吉田 ちさと 3年 菅原 徠煌

5年 下佐 碧 5年 菅原 逞夢 6年 細谷 旬

硬筆の部 〈推薦〉 1年 菅原 朱姫 4年 槻舘 みわ 6年 細谷 旬

☆歯・口の健康に関する標語コンクール

〈入賞〉 5年 金子 倅子 「歯みがきと デンタルフロスで 合わせ技」

☆第44回全国児童画コンクール

〈入選〉 1年 館下 暖 4年 相馬 美月 〈店長賞〉 3年 高橋 杏奈

☆「牛乳大好き」絵のコンクール

〈銅賞〉 6年 細谷 旬 〈佳作〉 3年 齋藤 杏菜

☆第17回 たきざわ夢灯り2026ポスターコンクール

〈会長賞〉 3年 齋藤 杏菜 6年 細谷 旬

☆市青少年健全育成標語 〈銀賞〉 4年 土川 楓子

「変わるのは まわりじゃなくて 自分から」

☆第37回びわ湖クロスカントリー大会 小学生男子 1km

〈6位〉 4年 佐藤 郁斗



ダスキンお掃除教室

1月30日（金）と2月25日（水）に、ダスキンの職員さんを講師にお迎えして、全学年で、ダスキンのキレイのタネまき教室「お掃除について学ぼう！」を行いました。

ねらいは、「どうして掃除をしなければいけないのか考える」「掃除に対する理解を深め意欲向上につなげる」というものです。

まず、汚れの種類、正体を知ります。そして、ホコリが及ぼす影響を知り、掃除をする意味を考えます。後半では、掃除用具の正しい使い方を知り、実習を行いました。

ほうき、ちりとり、の使い方、雑巾の持ち方、絞り方、机の上を拭き方などたくさんのごことを実際に体験しながら学びました。

どの子もきれいな掃除の仕方を学んだので、これからの掃除の時間に生かしてくれることを期待しています。



さて、来年度より、篠木小学校ではこれまで実施してきた「縦割り班清掃」から、**各学級単位で取り組む「学級清掃」へと移行すること**といたしました。縦割り班清掃では、異学年交流を通して上級生が下級生を思いやる心を育んできました。このよさを大切にしつつ、今回の変更には、教育上のねらいがあります。

低学年には「道具の正しい使い方」を、高学年には「効率的な分担や気づきの清掃」を、各学級の担任が子供たちの成長に合わせた清掃指導を直接行うことで、掃除の基本を確実に身につけさせたいと考えています。

毎日過ごす自分たちの教室や、自分たちが使う特別教室を友達と共に磨き上げる、そのプロセスを通じて、公共心を養い、身の回りの環境を整える心地よさを実感させます。

担任と子供たちが一丸となって取り組むことで、校内の美化意識をさらに高め、まずは「自分の足元」から美しくします。そのことが落ち着いた学びの環境づくりに直結すると考えています。

縦割り班による交流活動は、今後学校行事や児童会活動など、掃除以外の場面で意図的・効果的に展開していく予定です。

「自分たちの学校を、自分たちの手で美しくする」ということを、より深く、より丁寧に行う新しい清掃活動への取り組みに、ご理解ご支援をお願い申し上げます。



2月1日（日）
市民議会での発言の様子
6年 芳平愛斗さん
父 芳平正紀さん



6送会に向けて練習
に集中する5年生